



- ・申込後、動画制作のアドバイスや評価ポイントを解説する動画のリンクが表示されます。

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 みどりの食料システム戦略グループ  
(担当：岩瀬、五十嵐、笠原、須沼、中山、諸江)  
(03-6744-2016)

◆令和5年度畜産環境シンポジウムを開催します！ 【畜産局畜産振興課】

今年度の畜産環境シンポジウムのテーマは、家畜排せつ物からはじめる地球温暖化対策です。

本シンポジウムでは、家畜排せつ物からの温室効果ガス排出削減に資する堆肥製造技術やJ-クレジット制度の取組、堆肥の更なる有効利用につながる広域流通事例などの紹介を通じ、畜産環境対策を進める上での一助となる情報を発信します。

普及指導員の皆様におかれましても、シンポジウムの周知と併せて家畜排せつ物の適正管理と堆肥利用の推進についてご協力のほどよろしくお願いします。

【開催情報】

- ・日時：令和5年10月12日（木）13:30～17:15
- ・会場：農林水産省本省7階講堂とオンライン配信（参加費無料）
- ・お申し込み方法

以下フォームからお申し込みください。（先着順、10/10（火）〆切）

<https://www.cpl.jp/r5chikusan-form/>（外部リンク）

▼詳細はこちら

[https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c\\_sinko/230912.html](https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_sinko/230912.html)

※お問い合わせ先

農林水産省 畜産局 畜産振興課（担当：夏目・福田）  
(03-6744-7189)

◆農業現場におけるクマの出没及び人身被害防止等に対する指導等の徹底について 【農村振興局鳥獣対策・農村環境課】

今年度のクマの出没件数は、件数が多かった令和元年度及び2年度に近いペースで推移しています。

クマは、冬眠に入る前の10月から11月にかけて、餌を求めて人里近くまで下りてくると一般的に言われており、一層の注意が必要です。

農業現場においてクマとの遭遇を避けるためには、誘引物の除去などの対策が必要であり、農林水産省から各都道府県あてに通知したところです。

今後収穫期を迎えるに当たり、普及指導員の皆様からも農業者等への指導及び注意喚起の徹底について、ご指導のほどよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農林水産省作成リーフレット「クマにご注意下さい！」

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/attach/pdf/index-1.pdf>

○農林水産省から都道府県あての注意喚起の通知

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/tyuuikanki/attach/pdf/index-4.pdf>

○環境省 WEB サイト「クマに関する各種情報・取組」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort12/effort12.html>

○環境省 WEB サイト「クマ類の出没対応マニュアル改定版」

<http://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 鳥獣対策・農村環境課（担当：谷川、堀澤）

（03-6744-7642）

=====

◆「みどり戦略技術紹介」アミノ酸バランス改善飼料による牛排せつ物由来の温室効果ガス削減 **【大臣官房 政策課 技術政策室】**

=====

本技術紹介では、みどりの食料システム戦略に貢献する技術を、「みどりの食料システム戦略」技術カタログから毎月紹介しています。

今回ご紹介するのは、「アミノ酸バランス改善飼料による牛排せつ物由来の温室効果ガス削減」です。

アミノ酸バランス改善飼料とは、アミノ酸バランスを調整することで温室効果ガスの排出量を削減する飼料です。慣行の飼料と比べ、堆肥化中に発生する温室効果ガスの量を約半減させつつ、肥育成績は維持することができます。当手法は、J-クレジット制度の方法論としても登録されています。本技術の詳しい情報については、カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導のほどご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：畜産) P. 2

アミノ酸バランス改善飼料による牛排せつ物由来の温室効果ガス削減

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/midori\\_catalog\\_animal.pdf#page=2](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/attach/pdf/midori_catalog_animal.pdf#page=2)

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室（担当：小花和、田中）

（03-6744-0408）

++・…… 病害虫発生予報の発表について ……・++

◆「令和5年度 病害虫発生予報第7号」(令和5年9月13日(水)付け)を発表しました 【消費・安全局植物防疫課】

農林水産省は、向こう1か月の農作物の病害虫発生動向や防除について「病害虫発生予報第7号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病害虫防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○向こう一ヶ月の発生量が多くなると予想される主要な病害虫及び地域

- ・ 水稻の斑点米カメムシ類：北海道、北東北、南関東、四国及び北九州の一部の地域
- ・ 大豆の吸実性カメムシ類：北東北、北陸及び中国の一部の地域
- ・ 野菜・花き類のハスモンヨトウ：北東北、関東、北陸、東海及び四国の一部の地域
- ・ 果樹カメムシ類：東北、北関東、北陸、東海、中国及び九州の一部の地域  
この他、水稻のいもち病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和5年度 病害虫発生予報第7号」の発表について(令和5年9月13日付け農林水産省プレスリリース)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/230913.html>

○これまでの病害虫発生予報についてはこちら

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課(担当：岡田、城野、吉田、河合)  
(03-3502-3382)

\*\*\*\*\*

編集後記

\*\*\*\*\*

9月になっても引き続き30度を超える気温が続いているものの、朝は幾分過ごしやすくなってきている。そろそろ食いしん坊には堪らない実りの秋が近づいてくる気配がする。梨、ぶどう、柿、栗、さつまいも、じゃがいも、きのこ、サンマ、鮭等々、食材を思い浮かべるだけでもワクワクする。そして、何といても瑞穂の国たる日本の主食、お米。皆さん、新米は格別ですよ！

新米に合うおかずを合わせ、この秋、和食をしみじみと味わうもよし、さつまいもや栗のスイーツを味わうもよし、夏バテした体を労わって、秋の味覚を存分に味わいたい。そして、再び流行しているコロナウイルス感染症やインフルエン

